

新人賞

くらさわ まひろ
倉沢 茉紘 (ヴァイオリン) 千葉県出身・在住 22歳



《受賞理由》

高い演奏技術による細部の表現が巧みであり、色彩豊かな音色と力強い音色から、曲と一体になる個性が感じられ、聴き手の心に響く演奏を奏でている。

今後も様々な演奏活動を行う中で、技術と表現力を磨き大成することが期待される。

《主な活動歴》

平成27年・令和元年・令和6年 視覚障がい者支援チャリティ公演「声の花束」出演

令和6年 モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニア管弦楽団、ジョルト・ナジと共演

《主な受賞歴》

令和4年 Tibor Varga International Competition (スイス) Best Interpretation prize 受賞

令和7年 東京藝術大学卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞

令和7年 Henry Vieuxtemps Competition (ベルギー) ファイナリスト、聴衆賞受賞

奨励賞

あらい こうた
新井 浩太 (彫刻) 千葉県出身 26歳



《受賞理由》

触覚を通じて自己と外界の関係を見つめ直すという独自の視点にて制作される探究的な姿勢が高く評価された。

今後も技術と表現力を磨いていくことで、更なる活躍が期待できる。

《主な活動歴》

令和4年「風が目たち／The eyes of the wind Vol.1」(Obscura/Georgia Tbilisi)

令和6年「皮膚と骨-グラデーションに沈むモノコト-」(彫刻家の家/香川)

令和6年「CAF Award 2024」(代官山ヒルサイドフォーラム/東京)

《主な受賞歴》

令和2年 「IAG AWARDS 2020」 TALION GALLERY 奨励賞

令和4年 「東京造形大学卒業制作展」 ZOKEI 賞(最優秀賞)

令和6年 「CAF Award 2024」 入選

奨励賞

あんざい
安西

つよし
剛 (現代美術) 千葉市在住 38歳



《受賞理由》

美的造形としての完成度に併せ、現代社会が抱える環境問題を作品により可視化させ、鑑賞者一人ひとりに訴えかける表現力が高く評価された。

作家自身が明確な方向性を持ち、今後の芸術活動が千葉市の芸術文化の振興に寄与することが期待できる。

《主な活動歴》

令和2年 個展「アペルト12 安西剛『ポリ_』」金沢21世紀美術館 2020年

令和3年 個展「grouded」クンストラーハウス・ベタニエン(ベルリン)2021年

令和4年 グループ展「EXTENDED PRESENT-TRANSIENT REALITIES」ルートヴィヒ美術館(ブダペスト)

《主な受賞歴》

令和2年 ポーラ美術振興財団 若手芸術家の在外研修助成

令和6年 Fondation Villa Seurat(フランス)よりプロジェクト助成

令和6年 富士フイルム「GFX Challenge Grant Program」にて Regional Grant Award 受賞